

## 公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	第二舞子坂音楽堂児童デイサービス		
○保護者評価実施期間	2025年 12月 2日	~	2026年 1月 8日
○保護者評価有効回答数	(対象者数) 30	(回答者数) 21	
○従業者評価実施期間	2025年 12月 1日	~	2025年 12月 23日
○従業者評価有効回答数	(対象者数) 5	(回答者数) 5	
○事業者向け自己評価表作成日	2026年 1月 26日		

## ○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	音楽活動を通じて自己表現の幅を広げるとともに、意思疎通の手段を増やし、自己肯定感の向上につながるようなアプローチを重視しています。また、音楽療法士やプロのミュージシャンが関わることで、専門性の高い音楽活動を提供できる点も当事業所の強みの一つです。	スキルの向上に加え、楽器演奏を通して表現の幅を広げられるような関わりを大切にしています。言葉での表現が難しい方でも、楽器を用いることで自分の思いを伝えやすくなり、発語につながるような支援にも積極的に取り組んでいます。また、音楽活動の中で主体的に選択する機会を設け、意思決定力の向上にもつながるよう工夫しています。	集団での音楽活動に加え、個々の特性や状況に応じた個別対応も行っています。個別での関わりを通して、演奏面でのスキル向上を図るとともに、一人ひとりに合った自己表現の方法を見つけ、深めていけるよう取り組んでいます。
2	地域の施設や公園への外出を取り入れ、さまざまな体験活動にも積極的に取り組んでいます。外出活動を通して、利用者一人ひとりの新たな可能性を見いだすとともに、室内活動ではなかなか見られない生き生きとした姿を引き出せるよう支援しています。	感受性を豊かに育めるよう、さまざまな体験活動に参加できる機会を工夫して設けています。梨狩りなどの収穫体験や博物館への外出を療育プログラムに取り入れ、興味・関心の幅を広げるきっかけづくりを大切にしています。	公園への外出の際には、身体を動かすことへの抵抗感を和らげ、無理なく運動に親しめるような関わりを取り入れ、運動習慣の促進につながる支援を行っています。
3	季節ごとの壁面製作やクッキング活動など、多岐にわたる活動プログラムを提供しています。これらの活動を通して、手先の巧緻性の向上や集中力の向上を図るとともに、利用者一人ひとりの興味・関心の幅を広げられるよう支援しています。	複数の職員が企画立案に関わることで、活動プログラムに偏りが生じないよう工夫して取り組んでいます。また、利用者一人ひとりの特性や得意な点を生かした工程をプログラムに取り入れ、自己肯定感の向上につながる支援を行っています。	利用者の意見や希望を丁寧にくみ取り、次回の活動内容に反映させることで、主体的に参加する意欲の向上を図るとともに、支援内容の充実につなげています。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	外部機関との連携が十分とは言えず、地域での活動についても、つながりを持てる機会が限られている状況です。	放課後児童クラブや児童館との交流の機会がなく、地域行事への積極的な参加も十分に行えていない状況でした。	放課後児童クラブや児童館等、地域との交流についても検討を進め、それに伴い新たな支援方法の導入や工夫を行っていく必要があります。
2	第三者による外部評価について、評価表などの有形の形での評価が行われておらず、現状では無形の評価を基に業務改善を進めている状況です。	第三者による有形評価の方法について、十分な情報把握ができていない状況です。	第三者による有形評価の方法に関する情報を収集し、当法人にとって取り入れやすく、より効果的な業務改善が見込まれる方法を精査・選択していきます。
3	児童発達センターとの直接的な連携事例が少なく、スーパー・バイトや研修を受ける機会の頻度が限られている状況です。	利用者の状況において、児童発達支援センターと密接な連携関係を必要とする事案が少なく、現状ではそのような関係性の構築に至っていません。	必要に応じて児童発達支援センターとの友好的な連携方法を検討し、より良い支援提供が行える環境を整備するとともに、継続的な業務改善に努めています。

## 公表

## 保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名		第二舞子坂音楽堂児童デイサービス							公表日 2026年1月26日			
		利用児童数 30							回収数 21			
		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応				
環境・体制整備	1	子どもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	20	0	0	1		安全に配慮し、のびのびと過ごせるような環境構成に引き続き努めています。				
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	19	0	0	1		基準を満たしております。さらに状況に応じて増員し、より手厚いサポート体制を整備してまいります。				
	3	生活空間は、子どもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	18	1	0	2		足が不自由な利用者様など、その方の特性に応じた配慮・支援を考えながら応じてまいります。				
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	18	1	0	2		全職員が衛生面への知識をしっかりと身につけていくよう内部研修の実施や外部研修へも積極的に参加してまいります。				
適切な支援の提供	5	子どものことを十分に理解し、子どもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	19	1	0	1	音楽が好きなので喜んでいます。	より良い支援方法を模索して、利用者様に合った方法をその都度支援してまいります。				
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	21	0	0	0		今後も適正な支援プログラムに準じた支援を提供し、随時、より良い支援が提供できるよう改善します。				
	7	子どものことを十分理解し、子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	20	1	0	0		本人主体をベースに、今後もご利用者様一人ひとりの姿に寄り添える支援計画の作成に努めてまいります。				
	8	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているだと思いますか。	20	0	0	1		本人主体はもちろんの事、さまざまな意見や方法を取り入れ、より良い支援提供者として、ご利用者様に接してまいります。				
	9	放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	21	0	0	0		ご利用者様の発達に寄り添える支援者となれるよう、職員それぞれが知識と経験を深めていく事に努めています。				
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	21	0	0	0		季節感のあるプログラムや成長発達に応じたプログラム構成に今後も務めでまいります。				
	11	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他の子どもと活動する機会がありますか。	8	3	0	10	公共の場への外出をさせてもらってるのとそれで満足しています。	地域とのつながりを広めていき、今後、ニーズや社会情勢に応じて検討してまいります。				
保護者への説明等	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	21	0	0	0		ご利用者様に安心してご利用していただくために、説明が不十分にならないよう丁寧な説明を心掛けてまいります。				
	13	「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	20	1	0	0		今後も、定期的なモニタリングで計画の見直しをおこない支援をしてまいります。				
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレン特訓等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	14	2	2	3		ご家族のよりよい関係づくりのサポートを行うためにも、今後スタッフのスキルアップを図り、ご家族への支援の拡充をおこなってまいります。				
	15	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの健康や発達の状況について共通理解ができると思っていますか。	20	1	0	0		今後も継続して、ご家族様のご相談により良い対応できるよう努めてまいります。				
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	18	3	0	0		今後も、定期的なモニタリングで計画の見直しをおこない支援をしてまいります。				
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	21	0	0	0		充実した生活が送れるように、より良い支援体制を整備し継続してまいります。				
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	10	4	2	5		定期開催のクリスマス演奏会やジャンベ大会にぜひご来場いただき、親子でイベントを楽しんでいただければと思います。なお、保護者様のニーズに合わせてイベントを検討してまいります。				
	19	子どもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	17	2	0	2	急な曜日変更など大変助かっています。	今後も継続して支援ができるように、環境整備やスキルアップに努めてまいります。				
	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	21	0	0	0		今後も継続して支援ができるように、環境整備やスキルアップに努めてまいります。				
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	15	3	0	3		常に、良好な情報提供が可能になる方法について精査し、より良い情報提供に努めてまいります。				
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	19	0	0	2		今後も細心の注意を払って対応してまいります。				

非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	16	0	0	5		訓練をする児童にも実際の有事に備えた訓練になるように開催していきます。
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	12	1	0	8		訓練をする児童にも実際の有事に備えた訓練になるように開催していきます。
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	18	1	0	2		日々のマンネリ化に流されないように意識を持ち、常に「かもしれない」と安全に対する意識を高めて、支援していきます。
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	19	0	0	1		報告業務が滞らないように、職員間の報告方法の精査と有効的な取り組みを今後も継続していきます。
満足度	27	こどもは安心感をもって通所していますか。	21	0	0	0		引き続き安心で安全な時間を過ごせるように、提供サービスや人材育成を継続的におこないます。
	28	こどもは通所を楽しみにしていますか。	21	0	0	0	とても楽しく通所しています。	引き続き、楽しんで過ごせるように、提供サービスや提供プログラムをより良いものへ日々改善していきます。
	29	事業所の支援に満足していますか。	21	0	0	0		ご利用者様の満足度が高まるように、全般的な業務内容の精査・評価をおこない、より良いものへ改善していきます。

## 公表

## 事業所における自己評価結果

事業所名		第二舞子坂音楽堂児童デイサービス				公表日	2026年1月26日
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	4	1	活動によってスペースをそれぞれ分けて設けています。		
	2	利用定員や子どもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	3	2			女性職員が少ないため休みが重なると児童の介助等が困難になる可能性があります。
	3	生活空間は、子どもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	4	1	事業所に来てからの流れを児童に分かりやすいように掲示したりその日の分担作業をホワイトボードに記入し伝達しています。	発熱した児童や中高生の児童に着替えが必要な時にもう少し隔離できるスペースが必要な場合もあります。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか。	4	1	机などこまめに消毒し汚れたら児童たち自ら掃除するなど清潔な環境を心掛けています。		
	5	必要に応じて、子どもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	5		体調不良や不穏の時に横になつたり気持ちを落ち込ませられるようベッドを置きカーテンで仕切るなど個室のスペースを設けています。		
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	3	2			パート職員が多く、全員は難しい場合があります。今後方法を検討していきます。
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	5				
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	4	1	ラインを活用し、リアルタイムでの意見交換もで き立案等にも繋げています。	現状執り行えておらず。今後検討していく。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	5				以前に比べ社内研修の頻度が少なくなってきたので要検討。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	3	2			
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	4	1	HPにて公開しています。		
	12	個々の子どもに対してアセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	5		面談によってニーズを聞きそのニーズに沿つた計画案を作成している。		
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、子どもの支援に関わる職員が共通理解の下で、子どもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	4	1			
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	4	1	職員間でしっかりと共有し、計画に沿った活動を支援していく。		
	15	子どもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	5				アセスメントシート、ケース記録システム等の活用の事例をパート職員とも共有していきます。
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、子どもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	5		5領域プログラムに沿って音楽堂ならではの音楽療育的アプローチを取り入れつつ、本人支援、地域連携等実現に向けて活動できています。		
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	4	1	全体でのイベントではチームとなり進めています。企画書を作成しそれに従い行動できています。	より多くの話し合いの場を持ち立案を検討します。	
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	4	1	外出など積極的に行い活動の幅を広げています。	室内での活動では固定化してきているように感じます。	
	19	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	5				
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	3	2			時間帯により難しい場合があります。今後検討していきます。

	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	4	1	その日のうちに振り返りを行い次回からの療育に繋げています。	
	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	5		日々のケース記録を毎日つけています。	
	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	5		半年に1回行っています。	
	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせて支援を行っているか。	5			
	子どもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	5		活動については本人の意思を尊重しております。問題がある場合は職員間で話し合える状況にあります。	
関係機関や保護者との連携	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、その子どもの状況をよく理解した者が参画しているか。	4	1		
	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	5		医療機関や相談支援など地域の繋がりも広げています。	
	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	4	1	学校への送迎時先生からその日の様子や行事などの情報を聞くようにしています。	学校との連携も今後検討していきます。
	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	2	3	現在未実施。	必要に応じて就学前の事業所との情報共有をプライバシー等に配慮しつつ実現していく。
	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	4	1	現在未実施。	よりスムーズに移行できるよう卒業後の事業所との情報共有をプライバシー等に配慮しつつ実現していく。
	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	2	3	現在未実施。	今後必要に感じた際は適切に対応できるよう検討していく。
	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他の子どもと活動する機会があるか。	1	4	現在未実施。	利用者保護者とのニーズのすり合わせも行い、適切に対応を検討する。
	(自立支援) 協議会等へ積極的に参加しているか。	1	4	現在積極的な参加はできておらず。	今後必要に感じた際は適切に対応できるよう検討していく。
	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	5		送迎時や公式LINEを用いて日々の情報共有を行っています。	
	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	2	3	現在未実施。	今後ニーズを把握し、研修開催も検討していく。
保護者への説明等	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	5		契約時、モニタリング面談時等に確認している。保護者よりの問い合わせにもその都度説明していく。	
	放課後等デイサービス提供を作成する際には、子どもや保護者の意思の尊重、子どもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、子どもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	5		アセスメントの段階より本人とその家族主体のニーズに沿って、提供出来得るサービスの提案を心がけている。	
	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	5		常に丁寧な説明を心掛け、よりよい理解に向けたアクションを実施していく。	
	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	5		困ったこと等がある際は適宜面談を行い助言等を行っている。	
	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	1	4		クリスマスコンサート等家族参加可能な行事も行っており、より参加しやすいような場を設ける等検討をしていきます。
	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	5			
	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	5		連絡帳への記入や行事予定表を作成、配布しLINEでの情報提供も行っています。	
	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	5			

	44	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	4	1		
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	3	2	地域住民に分かりやすくチラシ等を作成し配布しています。	
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	5			
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	4	1		
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	5		常に連絡帳を確認し保護者からの情報をもとに服薬や普段と違う様子を見て判断しています。	
	49	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	5		おやつやクッキング活動の際にはアレルギーに十分配慮して提供している。	
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	5			
	51	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	5		BCP等、策定見直しのタイミングで各利用者、職員に情報の共有を強化していく。	
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	5			
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	5		毎年虐待研修を社内で実施し、職員の認知を行っている。	
	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	3	2		現在該当者なしです。今後該当する利用者が出了場合は保護者様と相談の上検討していきます。